



たか 橋 のぼる
高 橋 昇

市民の生命・財産を守るために行政と議会がある。生命を守る芳賀赤十字病院の建設計画がスタートした。一日でも早い完成に全力を注いで参ります。また、財産を守る地籍調査は、行政が早急に着手すべきである。誰もが安心して暮らせるように、本年の最優先課題として取り組んで参ります。



なな うみ あけ み
七 海 朱 美

市制60年を迎える真岡市は、今年、市民会館をはじめ多くの公共施設の修復も終わり、新たなスタートを切っております。

議員は、勇気と真心を持って真実を語ることが出来る人でなければならぬ。今後市民目線で政策提言して参ります。ご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。



はる やま のり こ
春 山 則 子

市制施行60周年を迎え、先人達が築いてきた歴史を振り返り、改めて議員としての責任を痛感しています。人と人のつながりを大切にし、心の通う「和」と「輪」を広げ、住み良い地域づくり、まちづくりに貢献します。今後とも、市政に女性の細やかな新風を送ります。よろしくお願ひ申し上げます。



しば さし 恵
柴 さとし 恵

市民の皆様には常日頃大変お世話になっております。本年も二元代表制の下で議会の存在と役割に責任を持ち、市民目線の開かれた議会を目指すとともに安全・安心のまちづくり、市民にやさしい自治体の創造と市政発展のため、一所懸命頑張って参ります。今後ともご指導、ご鞭撻をお願ひ致します。

近隣諸国とどう向き合っていくのか、日本の行方が心配です。アベノミクスでどう変わってしまうのか、冷静に判断したい。市の財政が厳しい中、新市庁舎の建設は重要課題です。建設に当たっては、議会の中にも建設委員会を設置すべきであると考えます。地域に根差した活動を実践します。



き むら とし お 雄
木 村 寿 雄

米寿を迎えた母の生き甲斐を願うとともに、障がい者、閉じこもりの人々の自立を目指す「福祉の充実」・突然起こる天災、山間地域の土砂災害に万全な備え「防災対策」・狭あい道路解消など安心して暮らせる「住環境整備」が最重要課題であり、強靱なまちづくりを目標に取り組んで参ります。



かり べ まさ お 夫
刈 部 正 夫

日頃、市民の皆様には大変お世話になっております。引き続き、市民の皆様の声に耳を傾け「至誠・勤労・分度・推譲」の精神で、「お年寄りが生き甲斐を持って暮らせる真岡市、子ども達が希望を持てる真岡市」の実現を目指して市民一人一人の幸せを第一に考え、行動して参ります。

「恩を知ることによって人間の道を知り、恩を返すことから人間の生き方が始まる」との言葉を心に受け止め、高齢者も若者も、健常者も障がい者も、一人一人が心のバリアを取り払い、ともに安らげる生活空間を築けるよう安全で安心できるまちづくりの推進に最善の活動をして参ります。



の ざわ さとし 達
野 沢 さとし 達

私は報徳の教えである「一円融合・積小為大」の精神に基づき、人と自然、経済と道徳の調和を図り、市民と行政の協働により、全ての人が心豊かな人生を送れるように努めることはもちろん、「至誠・勤労・分度・推譲」の精神で、次世代に誇れる活気あふれるまちづくり、ひとづくりに取り組みます。



ほし の まもる 守
星 野 まもる 守

今年、真岡市は市制施行60周年。「還暦」を迎えます。この成熟した社会・時代の中で、まちづくりのあり方を根本から見直すことが急務であると考えております。これまで掲げてきた公約の実現に向けて、今年も邁進する所存でございますので、皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願い致します。

今年、真岡市は市制施行60周年。「還暦」を迎えます。この成熟した社会・時代の中で、まちづくりのあり方を根本から見直すことが急務であると考えております。これまで掲げてきた公約の実現に向けて、今年も邁進する所存でございますので、皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願い致します。



なか むら かず ひこ 彦
中 村 和 彦

「恩を知ることによって人間の道を知り、恩を返すことから人間の生き方が始まる」との言葉を心に受け止め、高齢者も若者も、健常者も障がい者も、一人一人が心のバリアを取り払い、ともに安らげる生活空間を築けるよう安全で安心できるまちづくりの推進に最善の活動をして参ります。



あら かわ よう こ 子
荒 川 洋 子

「恩を知ることによって人間の道を知り、恩を返すことから人間の生き方が始まる」との言葉を心に受け止め、高齢者も若者も、健常者も障がい者も、一人一人が心のバリアを取り払い、ともに安らげる生活空間を築けるよう安全で安心できるまちづくりの推進に最善の活動をして参ります。

「恩を知ることによって人間の道を知り、恩を返すことから人間の生き方が始まる」との言葉を心に受け止め、高齢者も若者も、健常者も障がい者も、一人一人が心のバリアを取り払い、ともに安らげる生活空間を築けるよう安全で安心できるまちづくりの推進に最善の活動をして参ります。